



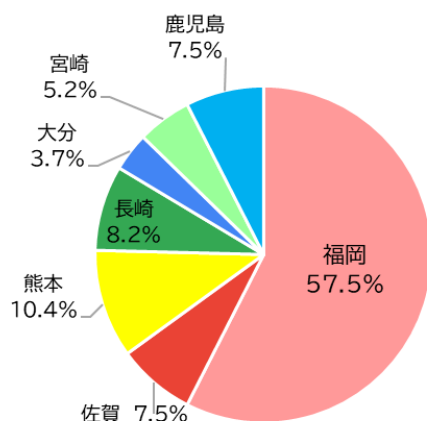
## 2023年度入社 新入社員採用・教育に関するアンケート調査(Web)

調査のねらい	コロナも5月に感染症法上の5類へ移行し、本格的に経済活動が戻りつつある中、九州企業における新卒採用・教育状況について新たな傾向や変化がみられたのか調査をした。
調査対象	九州生産性本部 会員企業のうち491組織
調査期間	2023年5月15日～5月19日(5日間)
調査方法	会員企業の代表メールアドレスへアンケートを依頼、Web上から回答(1組織、1回答)
回答数	159組織(回答率32.4%) ※前年調査時、回答率29.5%
調査項目	Q1 2023年度4月に新入社員を採用しましたか？ Q2 前年度と比較して採用人数は？ Q3 どういうポイントで採用しましたか？(複数選択可) Q4 今年の新入社員の印象を教えてください(自由筆記) Q5 新入社員研修の実施期間は？ Q6 Z世代に対応した研修にするために、新たに加えた研修項目や工夫したポイントはありますか？(自由筆記) <b>新設</b> Q7 入社して1か月。残念ながら退職してしまった新入社員はいますか？ <b>新設</b> Q8 退職者が「いる」と答えた方へ 退職の理由は？ <b>新設</b> Q9 新入社員の方にこの1年で、特に身につけて欲しいことを3つ選んでください。 <b>新設</b>

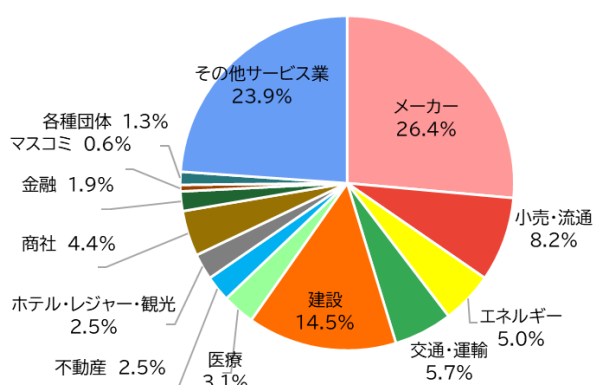
※昨年の結果との比較について:回答企業は昨年と完全に同じではないことをお含みください。

### 【回答企業区分】

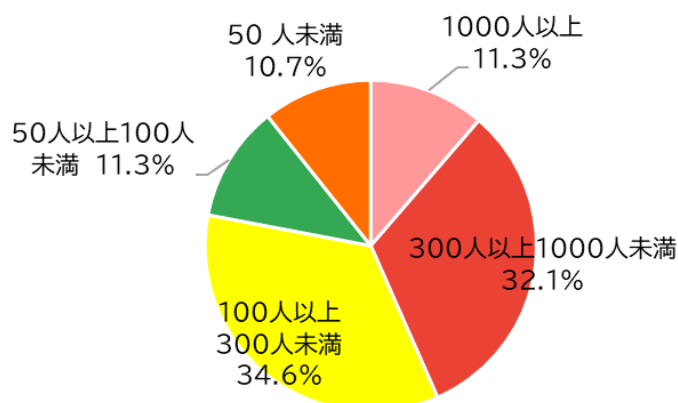
#### (1) 会社所在地



#### (2) 業種



#### (3) 従業員数

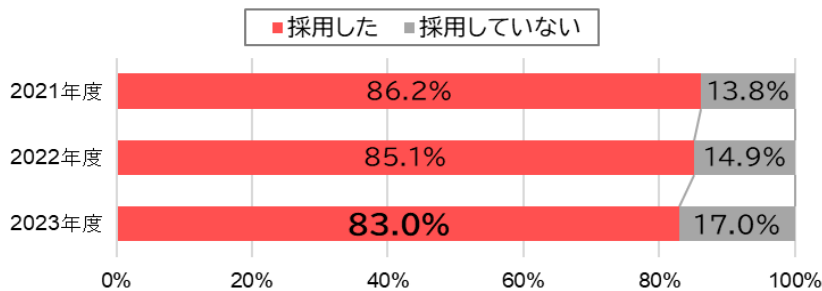


新卒採用実施・採用数の増減については、およそ前年同様の数値が見られた。

コロナ禍で学生時代を過ごしてきた新入社員を育成するために時間をかけ、且つ丁寧な研修を実施していることがうかがえた。一方でZ世代社員との世代間ギャップを埋めるために各企業は苦慮していることもうかがえる。

### (1) 2023年度4月に新入社員を採用しましたか？

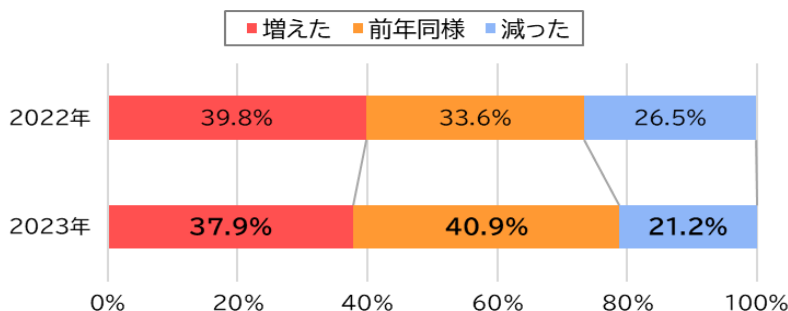
採用を「実施した」企業は 83.0%。コロナ禍でも 85%を超える企業が採用をしていたが、過去3年の結果を比較すると微減の結果となった。



### (2) 前年度と比較して採用人数は？

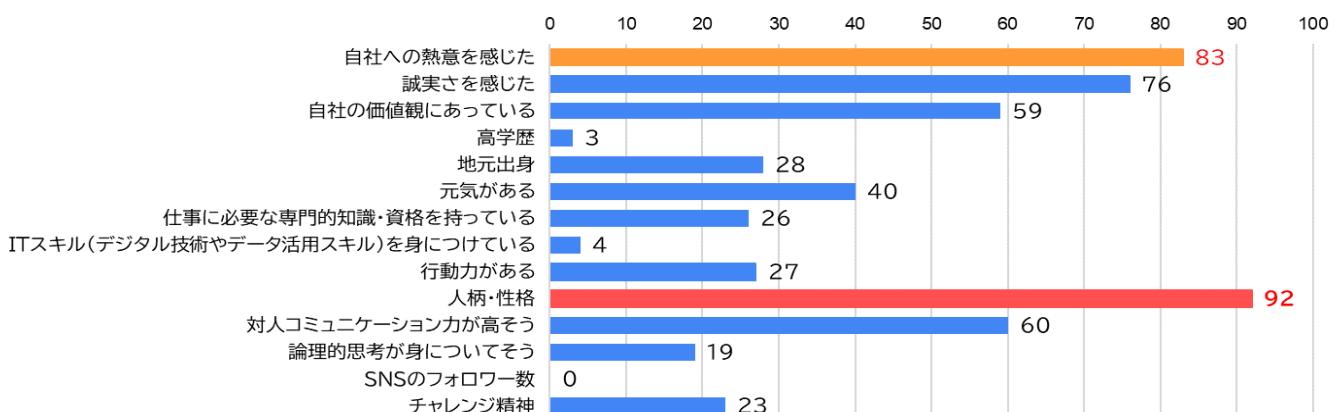
(以降 n=132)

採用人数で見ると、「前年同様」が 40.9%と一番高い。「減った」と回答した企業が 5.3 ポイント減少している。

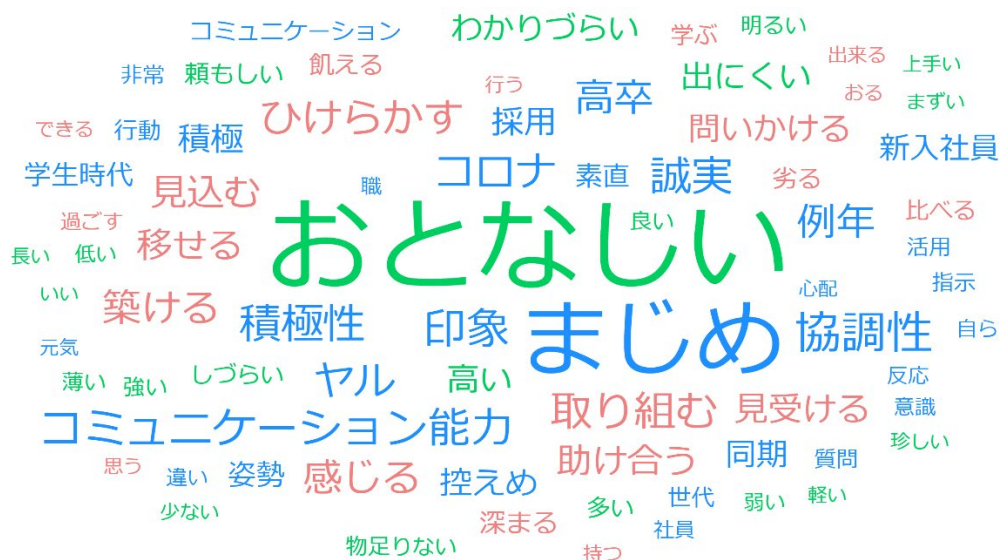


### (3) どういうポイントで採用しましたか？(複数選択可)

新卒採用のポイントはこれまで同様に「人柄・性格」が一番高い結果となった。2位は「自社への熱意を感じた」。近年 DX や IoT が注目されているため、今年は「IT スキルを身につけている」を新たに追加したが、結果は4社のみで、能力よりも「人」にフォーカスした採用が行われたことがうかがえる。



(4) 入社して1か月経ちますが、今年の新入社員の印象を教えてください（自由筆記）

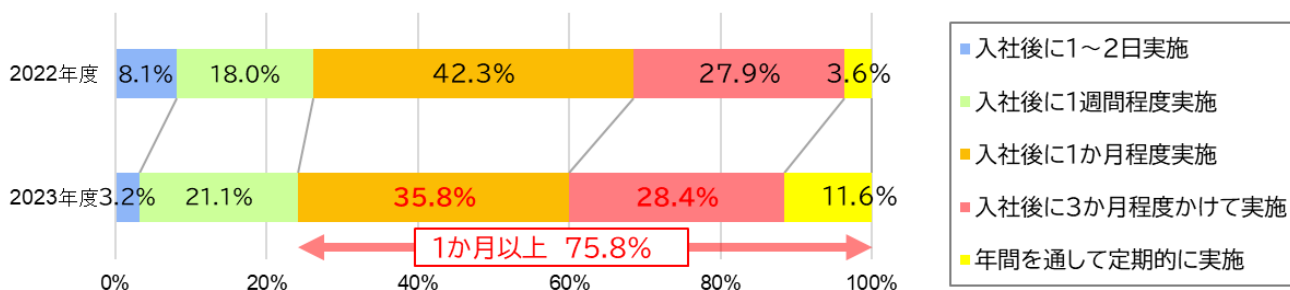


コメントの中で多かった上位キーワードは、1位「おとなしい」、2位「まじめ」、3位「協調性がある」。

昨年の上位キーワード：1位「まじめ」、2位「素直」、3位「積極的(前向き)である」と比較すると、今年は「積極的(前向き)である」は7位と下がった。

(5) 新入社員研修の実施期間は？

グラフのとおり、75.8%の企業が1か月以上かけて新入社員研修を実施していることがわかった。昨年1か月以上かけて研修した企業は73.8%で2.0ポイント増えている。より時間をかけて丁寧に新入社員を育てようとする企業が増えてきていることがうかがえる。



新設

(6) Z世代に対応した研修にするために、新たに加えた研修項目や工夫したポイントはありますか？(自由筆記)

例年どおりの研修を実施した(特に変えていない)と回答した企業も半数ほどあったが、具体的に回答いただいた企業の中では、同期の繋がりを強めるためのコミュニケーションの機会を増やす取り組みをしている企業が多かった。その他、若手社員の定着に向けて、各社工夫しながら研修を実施していることがうかがえた。

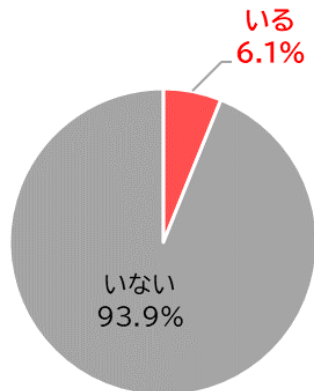
(回答から抜粋)

- ・成功体験、失敗体験を積み、特に失敗体験を気楽に受け入れるようなフォローと学習機会。
- ・18歳成人ということで、お金や個人契約などの講義コマを新たに設けた。
- ・新入社員研修を担当する社員側へ、今の若年者の傾向(育ってきた環境や時代背景)を知るために、外部講師を招いた研修を実施した。

## 新設

(7) 入社して1か月。残念ながら退職してしまった新入社員はいますか？

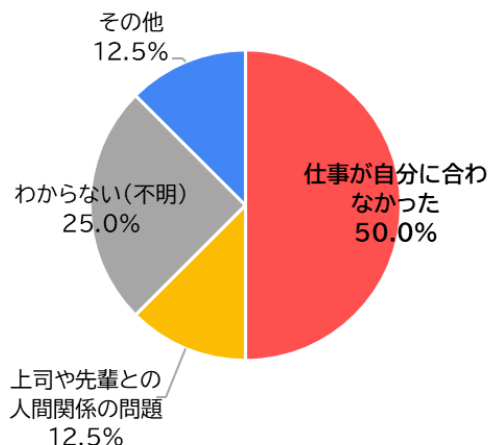
「いる」と回答した企業が6.1% (7社)。入社1か月程度で辞めてしまった組織も1割未満ながら存在した。



## 新設

(8) 退職者が「いる」と答えた方へ 退職の理由は？

退職の理由として「仕事が自分に合わなかった」が50.0%で1位。次いで「わからない(不明)」が25.0%。早期退職を防ぐためにも、採用時からミスマッチをなくす丁寧な説明や、内定後、入社後のフォローや積極的なコミュニケーションによる人間関係構築など、企業にはよりきめ細やかな対応が求められている。



【その他の回答】

「どうしても他にやりたいことができた」

## 新設

(9) 新入社員の方にこの1年で、特に身につけて欲しいことを3つ選んでください。(複数回答)

「失敗を恐れず挑戦する意欲」が76社で1位。次いで「仕事に必要な知識・スキルを早く習得すること」が67社で2位。会社の一員として知識やスキルの習得は必須だが、それよりも失敗を恐れず挑戦する意欲が上回った結果は、仕事を楽しくて欲しい、新しい感覚で会社を盛り立ててほしいという期待が表れているように思われる。

